

〈富田版子ども食堂&夕刻を支える場〉 「地域・家庭・学校・行政と協力しながら“ただいま〜”と言える子どもたちの居場所をつくる」

Why きっかけ

1人のケースとの出会い

事業構想・関係者との準備期間
民間助成金の申請

2017年3月11日(土)
立ち上げ講演会

※地域福祉ラウンドテーブルのスタート
(より広いセーフティネットの構築)
※ボランティア募集(大学との連携)

2017年3月29日(水)
春休み
プレ 子ども食堂

○学校や家庭とも協力しながら存在する
「第三の居場所」

○対象エリア

高槻市立第四中学校区



家に居場所がない



多国籍

音楽や映画、絵本にふれる体験の少なさ



子育ての不安
ひとり親家庭

給食が唯一の栄養源
(休みの昼食はカップラーメン)

発達障がい

子どもたちの夕刻を支える場
(ケア付き食堂)

○一緒に食卓を囲むことを通じてつくられた信頼関係をもとに、家族のこと、学校のこと、進路のことといった子どもの生活課題への対応を目指す。

- ✓ 課題対応型(ケース対応型)
- ✓ 子ども 少人数 ※登録制 <小学生~中学生>
- 大人 一定の専門性、少人数
- ✓ 毎週1回(水)17時~19時 開催(予定)
- ✓ せまく濃く
- ✓ こども300円・おとな500円 (主な財源:助成金収入&寄付)

子ども食堂
(共生食堂)

○地域に住む多世代、多くの人たちが
ごちゃごちゃに交わる交流拠点

- ✓ 地域の交流促進機能
- ✓ 誰でもOpen(老若男女)
- ✓ 春・夏・冬休み開催 (イベント的開催)
- ✓ うすく広く
- ✓ こども100円・おとな300円 (主な財源:助成金収入&寄付)

- マンパワーの発掘
- 従事者もエンパワメント
- 循環できるカタチ

地域の包摂型ネットワーク



- なべをつつく体験
- 家族のようなぬくもり

- ケース発見
- 大学との連携
- 学生の発掘

地域全体の拡大家族

2018年3月

地域福祉ラウンドテーブルの構築

学習支援教室わんぴーす (2014年~)

- ✓ 学力保障&居場所機能&人としての成長
- ✓ 中学生(四中生) 定員15名
- ✓ 毎週2回(月・水)19時~21時 開催
- ✓ 受講料:12,000円/月 ※困窮家庭6,000円/月
- ✓ 実施主体:WAKWAK
連携:第四中校区小中学校+富田青少年交流センター等



「夕刻を支える場」とは、学校や放課後児童クラブが終わってから夜にかけての時間や学校が休みの期間に子どもたちが安心・安全に過ごせるような取り組みを行っている場の総称です。子どもがそこに通うことで、保護者の夕刻も安心できる場になればという思いが込められています。
『夕刻を支える場 実践報告書』2016年3月より